

## 相馬野馬追の無事を祈る 出陣安全祈願祭と

### 総大将出陣祝いの宴



一千有余年の歴史を誇る相馬野馬追の開幕を翌日に控えた7月28日、中村城跡内の相馬中村神社で出陣安全祈願祭と総大将出陣祝いの宴が行われました。

出陣安全祈願祭には、総大将と宇多郷勢の武者らが陣羽織姿で参集。神事を執り行い、祭りの安全と武運を祈願しました。

続いて、総大将出陣祝いの宴が、同神社境内で開催。今年、相馬家33代当主の相馬和胤<sup>（あまなし）</sup>氏の孫の言胤<sup>（ことね）</sup>君が総大将を務めました。

総大将は「度重なる災害

や疫病に見舞われてきた当地において、無事に野馬追祭が開催される。この日を待ち望んでいた者たちの期待に応えられるよう、野馬追祭では一千有余年培ってきた団結力を皆に示してほしい。宇多郷勢は妙見尊のご加護のもと、威風堂々出馬されるよう希望する」と訓示しました。

引き続き、相馬外天会の「相馬中村藩古式炮術演武」、相馬高校相馬太鼓部の「奉納太鼓」が披露され、宴に華を添えました。



## シラス今季初水 揚げ 相馬双葉 漁協



相馬双葉漁業協同組合によるシラスの今季初水揚げは7月10日、原釜漁港で行われました。

当日は12隻の漁船が出港し、原釜漁港で水揚げされたシラスは約6、650キログラム。シラスは、色目やサイズにより値がつけられた後、市内の水産加工業者により競り落とされ、加工と放射性物質検査を経て、県内外に流通されます。

シラス漁は、大きさなどを見て週に2〜3回程度、11月ころまで行われる予定です。

## ヒラメの稚魚放流 県水産資源研究所

大きくなる予定です。

県水産資源研究所は7月12日、同研究所が約8〜10センチメートルまで飼育したヒラメの稚魚を相馬沖合に放流しました。

同研究所によるヒラメの稚魚の放流は令和元年度に開始され、今回で5回目。

当日は、稚魚を積み込んだ漁船が松川浦漁港から出港し、相馬沖合で約70、000匹を放流しました。

稚魚は約2〜3年で漁獲可能な50センチメートル以上の



## アワビの稚貝放流

### 県水産資源研究所

県水産資源研究所は7月24日、同研究所が約3〜4センチメートルまで飼育したアワビの稚貝を相馬沖合に放流しました。

当日は、稚貝を積み込んだ船が松川浦漁港と磯部漁港から出港し、漁港近くの岩場に約10、000匹を放流しました。

アワビの稚貝は、3〜5年で殻長10センチメートルまで成長し、漁獲できるようになる見込みです。



# スポーツ大会出場報告

## ▽トランポリン



スポーツ大会出場報告は、7月12日、市役所で行われ、相馬トランポリンクラブの選手9人が福地憲司教育長に東北大会出場を報告しました。

選手らは、4月16日に行われた第39回福島オープントランポリン競技選手権大会で優秀な成績を収めたことから、県の推薦を受けて東北大会に出場。

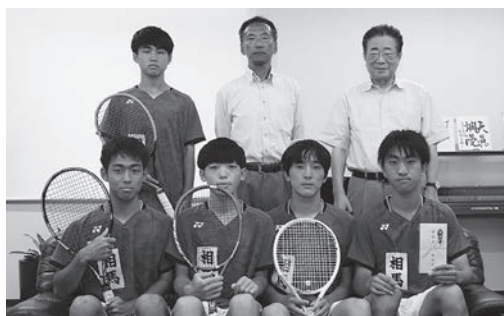
報告を受けた福地教育長は選手たちを激励し、奨励金を手渡しました。

## ▽テニス

スポーツ大会出場報告は、7月19日、市役所で行われ、全国大会に出場する相馬高校の選手5人が立谷市長に報告しました。

選手らは6月に開催された第69回福島県高等学校体育大会テニス競技の男子団体戦で優勝し、7月31日から北海道苫小牧市で開催の全国大会に出場。

報告を受けた立谷市長は選手らを激励し、奨励金を手渡しました。



## ▽バレーボール



スポーツ大会出場報告は、8月1日、市役所で行われ、全国大会に出場する磯部小学校の選手11人が立谷市長に報告しました。

選手らは7月に開催された第43回全日本バレーボール小学生大会福島県大会で優勝し、8月7日から東京都で開催の全国大会に出場。

報告を受けた立谷市長は選手らを激励し、奨励金を手渡しました。

# 自分の言葉で力強く

## 「少年の主張」相馬大会

「少年の主張」相馬大会は、7月13日、市民会館で開かれ、市内4中学校の各学年の代表生徒12人が自らの意見を発表しました。

市青少年健全育成市民会議の主催。

食品ロスなど生活に根ざしたテーマから、性の多様性、AIとの関わり方などの社会的なテーマまで、発表者は力強く意見を述べていました。



# 相馬港に寄港

## 海上自衛隊護衛艦入港歓迎式

海上自衛隊護衛艦「やまぎ

り」の入港歓迎式は7月14日、相馬港3号ふ頭で開催され、関係者ら約30人が出席しました。

同式典は、相双地区自衛隊協力連絡協議会の主催。

当日は、三浦盛同協議会会長のあいさつに続いて、新地町職員からやまぎり艦長の齋田周作2等海佐に対し、花束贈呈が行われました。

式典終了後は、出席した関係者らに対し艦内の特別公開が行われました。

## 寄付・寄贈ありがとう

## ▽ニューパワー相馬



7月14日、ニューパワー相馬合同会社が市役所を訪れ、教育復興子育て基金に寄付しました。

合同会社を代表し、荻本亭株式会社フジタ東日本開発事業部副事業部長が太陽光発電事業の収益の一部を寄付金として立谷市長に手渡しました。同社の寄付は、平成26年から毎年行われ、10回目。寄付金を受け取った立谷市長は「子どもたちのために有効に活用させていただきま

## ▽プレイグラウンド・オブ・ホープ

木製複合遊具の寄贈式は7月19日、山上小学校で行われ、関係者や児童ら約50人が参加しました。

同寄贈は、これまで市内3小学校および相馬愛育園に遊具を寄贈したNPO法人プレイグラウンド・オブ・ホープが遊具のコーディネートや設置などを担当し、株式会社ノバレーゼが支援。

当日は、寄贈された遊具が開放されると、児童らは遊具に向かって駆け出し、元気いっぱい遊んでいました。



## ▽カフキーン



株式会社カフキーンの志賀美紀代表取締役と同社所属歌手LOVEさんは7月21日、市役所を訪れ、横山英彦教育部長に寄付金を手渡しました。同寄付は、同社が作成し販売するマジックペンの売り上げ金の一部を市の教育復興子育て基金に寄付するもの。

横山教育部長は、「ありがとうございます。いただいた寄付金は、子どもたちの教育に活用させていただきます」と感謝の言葉を述べました。

## ▽日本公衆電話会

公益財団法人日本公衆電話会による「こども手帳」の寄贈式は8月3日、市役所で行われました。

同法人の木村拓路福島・秋田支部事務局長は、「子どもたちには、こども手帳で社会のルールを学び、安心・安全な生活のために役立ててほしい」と述べ、市教育委員会に「こども手帳」800冊などを寄贈しました。

寄贈された「こども手帳」は、2学期に市内全小学校の5・6年生などに配布されます。

ヒマワリで遊  
休農地対策  
市農業委員会

市農業委員会は7月15日、新沼地区の遊休農地約15アールにヒマワリの種まきを行いました。

同活動は遊休農地対策のPR活動を目的に平成18年から行っており、近年はヒマワリの種まきを実施。

当日、農業委員と農地利用最適化推進委員22人は、水糸で直線を確認しながら、丁寧に種まきを行いました。

ヒマワリは8月下旬ごろから開花を迎える予定です。

## 海開きに備えて

### クリーンアップ作戦



環境美化作業の「クリーンアップ作戦」は7月15日、原釜尾浜海水浴場で行われました。

当日は、市職員をはじめ、オリエンタルモーター株式会社相馬事業所や相双五城信用組合の有志ら約300人が参加。市の担当者からごみの分別方法の説明を受けた後、約1時間の清掃活動を行い、参加者は海藻や流木、空き缶、ペットボトルなどのごみを拾い集めました。

## シーズン中の無事故を目指す

### 海水浴場安全祈願祭

原釜尾浜海水浴場安全祈願祭は7月23日、同所で行われ、関係者ら約30人が参加し海開き期間の安全を祈願しました。当日は海水浴シーズン中の安全を祈願する神事が実施され、立谷市長や草野清貴市観光協会会長などが散酒の儀や玉串奉奠などを行いました。立谷市長は「今年も安全に海水浴を楽しんでいただきたい」とあいさつしました。



## 海の魅力を感じる シーサイドフェスティバル



SOMAシーサイドフェスティバル2023は7月22日、尾浜こども公園で行われ、市内外から多くの親子らが訪れました。

体験ブースでは相馬沖の魚に親しむことができる「わくわく水族館」などのコーナーが設けられたほか、特設ステージでは社会人プロレスイベントなどが行われました。また、アーティストのL.O.V.Eさんが、みなと保育園や原釜幼稚園の園児らと共に出演し、会場を盛り上げました。

## 親子で干潟の生き物を観察

### 松川浦自然教室

松川浦自然教室現地観察会は7月17日、松川浦で開催され、親子9組27人が参加しました。観察会は鶴ノ尾岬夕陽の広場駐車場西側にある干潟で行われ、参加した子どもたちは講師の鈴木孝男みちのくベントス研究所所長らの説明を受けて、干潟を掘り返してケフサイソガニやテツポウエビなどを手に取って観察し、楽しい時間を過ごしていました。



## 昔遊びで世代間交流

### 東部子ども公民館

東部子ども公民館世代間交流は7月18日、東部子ども公民館で開催され、児童約100人と地域の敬老会会員ら10人が参加しました。



当日は、けん玉や輪投げのほか、お手玉やあやとりなど昔ながらの遊び道具を使った遊びを敬老会の方々から教わった後、輪になって一緒に盆踊りを踊りました。児童らは、日ごろ接していない伝統の遊びや文化に触れ、楽しく遊んでいました。

## 大雨で被害を受けた秋田市へ

### 職員を派遣

7月20日、大雨で大きな被害を受けた秋田市（秋田県）を支援するため、市役所から職員2人が出発しました。

相馬市は、現地で多数の建物浸水などの被害が発生していることから、職員の派遣を決定。

立谷市長は、「秋田市には令和3年地震の支援などで大変お世話になった。しっかりと恩を返してきて欲しい」と述べ、職員らを激励しました。



## 自慢の歌声を披露 相馬盆唄大会

相馬盆唄大会は7月22日、市民会館で開かれ、子ども部10人、一般の部12人が出場しました。

大会は、相馬盆唄の普及と振興を目的に5回目の開催。出場者は自慢の歌声を披露し、会場を盛り上げました。

### ●結果は次のとおり(敬称略)

▽子どもの部 1位…馬場琉羽奈（南相馬市）、2位…大内美桜（相馬市）、3位…吉田美都（檜葉町）

▽一般の部 1位…石井有子（いわき市）、2位…遠藤え



りか（いわき市）、3位…村上喜菜子（相馬市）

## スイカ割りを楽しもう さくら子ども教室



放課後子ども教室「さくら子ども教室」のサマースクールは7月24日～7月28日の5日間、1～3年生の児童30人を対象に、桜丘小学校で開催されました。

7月26日は、同校昇降口でスイカ割り大会が実施され、児童らは目隠しをした状態で友達の声を頼りに前に進み、スイカ割りに挑戦しました。スイカ割りの後、児童らはスイカやトマトなどをおいしそうに食べ、夏の行事を元気づけ楽しんでいました。

## 語り部の活動が評価

### 五十嵐ひで子さん

化させないように頑張ってきた」と抱負を述べました。

「語り部等への復興大臣感謝状贈呈式」は7月26日、市役所で開催され、語り部の五十嵐ひで子さんが訪れました。五十嵐さんは東日本大震災で家族を亡くし、平成24年から市観光協会の語り部として活動し、自身の体験などの伝承を続けてきたことが評価されました。

当日は、荒井崇復興庁福島復興局長から五十嵐さんに同感謝状が贈呈され、五十嵐さんは「今後も震災の記憶を風



## 瑞宝双光章を受章 武田昭さん

令和5年4月1日付の高齢

者叙勲で瑞宝双光章を受章した武田昭さんは7月26日、市役所を訪れ、立谷市長に受章を報告しました。

武田さんは、平成2年に八幡小学校校長、平成4年に中村第二中学校校長にそれぞれ赴任したほか、平成9年1月5日から平成14年1月18日まで市教育委員会教育長を務めるなど、教育活動の充実に貢献しました。

報告を受けた立谷市長は受章をたたえました。



## 自慢の歌声を披露歌うま大会



野馬追の郷歌うま大会は7月29日、市民会館で開かれ、市内外から66人が出場しました。

同大会は、地域づくりの環境やにぎわい創出、交流人口の拡大を目的に開催され、今年で5回目。

出場者は自身が選んだ曲で自慢の歌声を披露したほか、特別出演として福島はじめさんが出演するなど、会場は大いに盛り上がりました。

## 4年ぶりの夏の風物詩

### 玉ノ井部屋土俵開き

大相撲玉ノ井部屋の相馬夏合宿土俵開きは8月2日、岩子相撲道場（松川浦スポーツセンター内）で行われました。

当日は、玉ノ井親方や志賀駿男初代親方、力士、玉ノ井部屋相馬市後援会などの関係者が出席し神事が執り行われ、合宿中の安全と力士たちの活躍を祈願しました。

立谷一郎後援会長のあいさつに続き、立谷市長が「相馬のおいしいものを食べて力をつけてください」と力士たちを激励。



歓迎と激励の言葉を受けた玉ノ井親方は、関係者への感謝と抱負を述べました。

## 図書館の仕事体験 ことしも司書体験講座



ことしも司書体験講座は、7月30日、8月5日、8月6日の3日間、図書館で開催され、児童5人が参加しました。

図書館の仕事を体験することで読書へ関心を持ち、学校や家庭での読書活動推進を目的に、図書館が主催。

8月6日は、おすすめの本を紹介するPOPの作成や本の返却作業体験などが行われました。

参加した児童らは、POPの作成などを通して今まで知らなかった図書館の仕事の裏側を学び、より一層本や読書への関心を深めていました。

## 火の用心を呼び掛け

### 市女性消防隊夏季防火広報

市女性消防隊の夏季防火広報出発式は8月4日、相馬消防署で行われ、各地区の女性消防隊長など11人が参加しました。

出発に先立ち、渡部順子隊長が「体調に気をつけつつ市民の皆さんに火の用心を呼び掛けていきましょう」とあいさつしました。

そろいの白のポロシャツを身に着けた隊員らが市内商業施設で来店者一人一人に防火啓発品を配布し、火災予防を

呼び掛けました。



## YouTube 相馬市チャンネルからのお知らせ



トピックスの一部は、市公式YouTubeチャンネルで動画を公開しています。下記のQRコードからアクセスし、ご覧ください。

▽海上自衛隊護衛艦入港歓迎式



▽東部子ども公民館世代間交流



▽シーサイドフェスティバル(ライブ)



▽シーサイドフェスティバル(プロレス)

